



住宅事業部 営業 **入船 翔** いりふねかける

株式会社トータルハウジング
住宅事業部で営業を担当して
いる入船翔。学生時代は陸上部に
所属し長距離走選手として汗を
流していた。今でも休日の楽し
みは走ることだ。入社2年目と
なった入船に、懸命に駆け抜け
てきたこれまでの一年間を振り
返ってもらった。

家を一からつくる

仕事との出会い

大学で土木施工について専攻
して学んでいた入船。当初就職
は、道路や橋を建設する企業を
考えていた。しかし就職活動で
さまざまな企業と出会うなか
で、家を一からつくる仕事に魅
れを感じ、住宅業界に興味を持
つように。トータルハウジング
を選んだのは、説明会での社員
の説明が非常に分かりやすく、
アットホームな雰囲気楽しく
仕事をしているのが伝わってき

たことが決め手だった。

分らないときには

まず確認

入社してしばらくの間は、何
が分からないのかも分からない
状態だったが、5月頃には接客
を任されるようになった。他の
社員が接客中であればひとりで
頑張るしかない。初めは質問さ
れても答えられないことばか
り。しかし、その都度メモを取
り、後で上司や先輩社員に確認
することを繰り返しながら徐々
に答え方を学んでいった。

分からないときには、あやふ
やな返答はしない。研修で学ん
だ通りに、「間違っていることは
お答えできないので」と一度お
断りをして、きちんと確認を
取ってから伝えるように心がけ
た。そうして少しずつトークの
幅を広げていった。

今の自分にできることを 積み上げる

最初の頃は、モデルハウスに
訪れたお客様に次回のアポイン
トメントを取ることがなかなか
できなかった。

「社員同士でお互いにお客様役
と営業役になり、必死に接客の
練習をしました。その甲斐あつ
て、7月に初めてアポイントメ
ントを獲得することができまし
た。この一年間で最も嬉しかつ
た瞬間ですね」。

若手の新人は、年上のお客様
から見ると、どうしても頼りな
く見えてしまいがちだ。自信の
なさや緊張で体が縮こまってい
たり、暗い声でボソボソと話し
たりしていると尚更だ。「人の印
象は最初の数秒で決まる」と聞
き、第一声から明るく元気よく、
を常に心がけている。最近は大
スクをしているので、目元から
笑顔が伝わるように、鏡の前で

一度笑顔練習してからお客様
の前に立つようにしている。ま
た、声は地声より1、2トーン
上げて接客するなど、印象を良
くするために日々努力している
という。

手応えありだったはずの

「まさかの一件」

今年のことだ。これまでで一
番お客様によりそったご提案が
できたと感じた。お客様からも
「他社と比べても入船さんの説
明が良かった」と、初めて褒め
めの言葉をもらったのだ。そこ
ろが、嬉しく思ったのも束の間、
そのお客様は他社での建築を決
めてしまったのだ。

あんなに好印象だったのに何
故……。自分の提案で決めても
らえると確信していただけに大
きなショックを受けた。理由を
聞くと、資金面の問題をカバー
する一手が足りていなかったと



判明。

「この一件で、お客様の回答の
背景にはどのような考えがある
のか、言葉にしていけない本音が
隠されていないか、深く掘り下
げて聞かねばならないと痛感し
たのです。非常に悔しい思いも
しましたが、失敗を経験するこ

とで、今後の課題を見つけるこ
とができました」と入船は語る。

尊敬する上司に

近づくために

今後の課題は、一人ひとりの
お客様に合わせた接客を極める
こと。目標にしているのは、い
つも近くで見守ってくれる上司
の六笠主任だ。お客様に合わせ
た提案を的確かつ丁寧におこ
なっており、とても尊敬してい
るという。

「4月に新入社員が入り、私も
先輩となりました。後輩や同期
のがんばりに負けないように、
これからも邁進していきたいと
思います」。

飽くなき向上心を胸に、入船
はこれからも成長を続けていく
ことだろう。

表紙掲載者

へのメッセージ

～入船さん編～



住宅事業部
営業課 主任
むかひ 有紀さん

入船さんへの メッセージ

入船さんとのご関係

同じ部署に所属しており、入船さんは私の後輩です。

入船さんはどのような存在ですか？

言うなれば「癒やしの存在」です。年齢が一回り以上も違うのにプライベートのことも色々話してくれて、喋りやすい優しい雰囲気を持っていると思います。真面目そうに見えて、たまに冗談を言うところにはギャップを感じます（笑）

巻頭では伝えきれない魅力、まだまだあります！入船さんと関係の深い六笠さんと山下さんにお話を伺い、更なる魅力をご紹介します！

いつもありがとう！



入船さんの尊敬できるところ

まだ入社して1年ほどですが、責任感を持って仕事をしてくれているところです。私が忙しく手が回らないときは、「自分がやっておきますね」と率先して新入社員との勉強会を開いてくれます。テーマを決めてロールプレイングを行うなど、丁寧に仕事を教えてあげているので、新入社員からは「分かりやすい」という声を聞きます。



建設事業部
デザイン設計課
やました 真由さん

入船さんへの メッセージ

入船さんとのご関係

同じ年に入社した同期になります。年齢は4歳違いますが、同期ということでもとても相談しやすく、身近に感じる存在です。

入船さんはどのような存在ですか？

いつも明るく、私に元気をくれる存在です。入船さんと一緒にいると笑顔が絶えず、とても楽しい時間を過ごすことができます。コロナウィルス流行前は、同期何人かで一緒に食事に行くこともありました。

入船さんの尊敬できるところ

常に一生懸命、学ぶことを辞めないところを尊敬しています。上席から話を聞いた後は、積極的に質問する姿を見かけ、向上心にあふれていると感じます。



入船さんに負けないよう、さらに向上心を持って仕事に取り組みます！

昔の大失敗エピソードepisode

今回も、新人の頃や仕事になれない頃に思わずやってしまったエピソードを集めました。ミスが起きてしまうのは仕方ありませんが、事例を教訓に自分ごととして捉えていきましょう。Part 3



失敗談
お話しします！

鹿屋支店 営業 池崎 友晴（いけざき ともはる）さん

あなたの昔の大失敗エピソードを 教えて下さい！

入社し、初めて分譲住宅をお引き渡しした際の話です。カーポートやポストなどの工事がギリギリになってしまい、結果としてお客様にご迷惑をおかけしてしまった経験があります。

その失敗から学んだことを 教えて下さい！

期日をしっかり決め、行動することが重要と感じました。「今週中に終わります」などの大まかな期日ではなく、「〇日の〇時」などと、しっかりと期日を決めて行動するように心がけています。



財務事業部 経理課 佐根 夏希（さね なつき）さん

あなたの昔の大失敗エピソードを 教えて下さい！

ネットバンキングを使用しての振込作業を初めて行った際、業者名の選択ミスで、当時取引を行っていなかった業者様へお支払いしてしまいました。先方へ大変ご迷惑をお掛けしてしまいました。

その失敗から学んだことを 教えて下さい！

会社の代表として支払い業務を行っているので、会社の信用関係に繋がってくることを実感しました。経理課内のチェック体制の強化を見直すとともに、ミスをしないように強く意識するようになりました。



建設事業部 デザイン設計課 湊脇 亮（ふちわき りょう）さん

あなたの昔の大失敗エピソードを 教えて下さい！

毎週行っているプラン課題の提出や、立案図面の提出のし忘れをしてしまいました。

その失敗から学んだことを 教えて下さい！

各業務の期限は必ずあり、カレンダーに記録をするよう心がけているのですが、提出時間を忘れてしまったことがありました。些細な事でも記録を心掛けるほか、クラウドのカレンダーからいつでも確認が出来るように環境を整えるなど、自分なりの解決策を見出しました。

